

## スポーツデータサイエンス体験教室開催報告

ドローンやGPS受信機を活用したスポーツデータ収集など、慶應義塾大学の教員や蹴球部から最先端のスポーツデータサイエンスについて学びました。

ラグビーの名門である慶應義塾大学蹴球部の試合観戦もしました。

日時：平成29年10月7日(土) 13時～18時30分

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス、下田グラウンド

対象：小中学生

### 【当日の様子】

ワークショップ 13:00～15:00 慶應義塾大学日吉キャンパス

#### ・導入

ラグビーワールドカップの決勝戦が横浜で開催されることや、スポーツデータがプロスポーツ選手に活用されていることを、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の神武直彦准教授から講義いただきました。



#### ・ミニ練習

ボールに初めて触れる方にもルールや持ち方が分かるよう簡単な練習をしました。慶應義塾大学の蹴球（ラグビー）部に協力いただき、選手たちと楽しくウォーミングアップしました。

#### ・作戦会議

2チームに分かれ、自分とチームの目標を決め、模造紙にまとめました。いざグラウンドへ。



慶應大学蹴球部の試合観戦 15:30~16:00 慶應義塾大学下田グラウンド

・ラグビー観戦

慶應大学 V S 流通経済大学の試合観戦。目の前で白熱の試合を観戦しました。  
慶應蹴球部の選手による試合解説も同時で行い、ラグビーのルールを学びました。



スポーツデータセミナー 16:30~18:30 慶應義塾大学下田グラウンド

・ラグビー体験（パフォーマンス測定、データ収集）

試合観戦の後は自分たちがグラウンドへ。

まずは30mの計測をし、自分が出せる最速のスピードを計測しました。

その後、GPS受信機やドローンによる撮影を行いながらタッチラグビーの試合。

ラグビーのルールがある中で、自分がどれだけ全力でプレーできているかを計測します。

また、ドローンによる撮影により、一人一人の立ち位置や動きが分かります。



・振り返り、収集データの確認

試合後、自分たちのデータ、動画を確認します。

データを見ることで、30m走のスピードとの比較、自分の動いている場所、チームメイトとの連携が視覚的にわかりました。

目標に対しどれだけ達成できたかを模造紙に再度まとめていきます。参加者からは、ボールに人が集まりすぎていることがドローンの映像を通して分かったのでポジションに気を付けたい、30m走の時のような全速力が試合中もだせてよかったなどの声がありました。最後に、2チームの個人とチームの感想を発表してもらいました。

